

10月22日(木曜日)「主の祈り(8)」

【新改訳 2017】

マタイ 6・13

「私たちが試みに会わせないで、悪からお救いください。」

この後半の部分はルカにないので、マタイから引用します。ふつう第七の願いとして考えられます。この「悪から」は「悪しき者から」(協会訳)とも訳されます。つまり、悪魔とその悪からお救いくださいとの意味に解かされます。また「救う」は、助け出す、かばって保護するという意味です。イエス・キリストを信じて救われた(ギリシャ語で「ソーゾー」)私たちは、普通の生活の中で出会うサタンとの悪のわざから救っていただく(「リュオマイ」=解放される)ことを祈るのです。

「悪」は多くの場合、必ずしも悪だとわかりません。かえって魅力あるものとして人間を引きつけます。あるいは、神の民(キリスト者)をいろいろな訴えやそしり、悪意をもって攻撃し、失望させ、神から引き離そうとします。ですから、日々このように祈りつつ、あらゆる悪から守っていただき、神とともに生かしていただくのです。

～祈り～

主よ。私たちが誘惑しようとする悪魔や悪霊たちのわざと、その悪からお守りください。そのわなに陥らず、御霊によって勝利するように助けてください。

【学びのために】

ルター「われわれはこの祈りにおいて、……天の父がからだと魂、財産と名誉にかかわるすべての類の悪から、われわれを救い、そして、ついにはわれわれの臨終にさいして祝福された終わりと与え、恵みをもって、悲しみの多いこの世から、天へと受け入れてくださることを祈るのです」。